

上場取引所 東

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 藤井産業株式会社

コード番号 9906 URL https://www.fujii.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 昌一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邉 純一 TEL 028(662)6060

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 無 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高 営業利益		益	経常利	J益	親会社株主に帰属する 四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	19, 380	6. 9	576	△0.3	790	2. 7	435	△7. 2
2024年3月期第1四半期	18, 127	15. 4	578	126. 1	769	83. 4	468	118. 7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期

521百万円(△24.3%) 2024年3月期第1四半期

688百万円(180.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円銭	円銭
2025年3月期第1四半期	51. 46	_
2024年3月期第1四半期	55. 37	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	61, 235	36, 554	55. 9	4, 050. 25
2024年3月期	64, 630	36, 730	53. 3	4, 071. 45

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 34,251百万円

2024年3月期 34,430百万円

2. 配当の状況

- : 10 - 17 1/70	- 10-1-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7-7							
	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭			
2024年3月期	_	25. 00	_	75. 00	100.00			
2025年3月期	_							
2025年3月期(予想)		25. 00	_	75. 00	100.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

		売上高		営業利	益	経常利	l益	親会社株主 する当期		1株当たり 当期純利益
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計	F)	41, 000	0.0	1, 300	△38.8	1, 600	△33. 7	1, 000	△35.0	118. 20
通期		98, 000	7. 6	4, 600	△7.4	5, 200	△6.9	3, 400	△7.0	401.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無新規 - 社 (社名) - 、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	10, 010, 000株	2024年3月期	10, 010, 000株
2025年3月期1Q	1, 553, 412株	2024年3月期	1, 553, 375株
2025年3月期1Q	8, 456, 606株	2024年3月期1Q	8, 464, 562株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると 判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業 績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあた っての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想など の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	6
	第1四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	7
	第1四半期連結累計期間	
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(会計方針の変更)	8
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
	(セグメント情報等)	9
	(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
	(企業結合等関係)	11
	(収益認識関係)	11
	(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの脱却が進み、インバウンド消費や活発なイベント開催など社会経済活動に緩やかな回復傾向が見られます。一方で、円安による原材料価格や資源価格の高止まり、物価上昇などコスト負担の増加により、今後も先行き不透明な状況が続くと思われます。

このような状況の下、当社グループは、「常に時代に対応し、新たな価値を創造しつづける企業グループ」を 目指し、持続的な成長と更なる企業価値の向上を図るべく事業展開をしております。

当第1四半期連結累計期間における連結成績は、売上高193億80百万円(前年同四半期比6.9%増)、経常利益7億90百万円(前年同四半期比2.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4億35百万円(前年同四半期比7.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が前期比減少しているのは、前第1四半期連結累計期間において特別利益(投資有価証券売却益)があったためです。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(マテリアルイノベーションズカンパニー)

電設資材事業は、電線類の大型案件受注増加による増販及び今夏の酷暑予想によるエアコンの早期出荷量の増加により、前期を上回る売上高となりました。建設資材事業は、物流施設などの大型案件やリニューアル工事における外壁・屋根・柱脚工事が順調に進み前期を上回る売上高となりました。情報ソリューション事業は、情報通信工事が本社及び千葉エリアで堅調に推移し、文教施設と民間の病院において情報インフラ関連が順調に推移したことにより、前期を上回る売上高となりました。コンクリート圧送は、受注が順調に推移し前期を上回る売上高となりました。

この結果、売上高は106億81百万円(前年同四半期比8.5%増)となりました。

(インフラソリューションズカンパニー)

機器制御事業は、医療機器関連、半導体関連、物流関連を中心に主力製品の販売や設備投資案件が堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。総合建築事業は、東京、東北、名古屋エリアで堅調に推移したものの期首受注残が少なかった事や着工の延期などの影響により前期を下回る売上高となりました。環境エネルギー事業は前期にありました大型案件の反動により前期を下回る売上高となりました。設備システム事業は、本社及び新規出店した埼玉エリアで堅調な推移となり前期を上回る売上高となりました。

この結果、売上高は65億91百万円(前年同四半期比9.7%増)となりました。

(コマツ栃木)

土木建設機械事業は、新車販売を中心に前年度売上は順調に増加しましたが、今期はその反動と県内公共投資や土木工事の低調も重なり、サービスメンテナンスも含め、前期を下回る売上高となりました。

この結果、売上高は16億72百万円(前年同四半期比10.2%減)となりました。

(その他)

再生可能エネルギー発電は、天候等の影響がありつつも前期並みの売上高になりました。路面切削工事は、受注が低調になり、前期を下回る売上高になりました。計測機器等の販売は、受注が堅調に推移し、前期を上回る売上高になりました。

この結果、売上高は4億35百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ33億94百万円減少し、612億35百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ34億64百万円減少し、469億21百万円となりました。これは、受取手形、 売掛金及び契約資産が減少したことが主な要因であります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加 し、143億14百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ32億58百万円減少し、219億32百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ40百万円増加し、27億48百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ1億76百万円減少し、365億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において2024年5月15日公表の業績予想から変更しておりません。なお、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18, 143, 485	19, 939, 170
受取手形、売掛金及び契約資産	25, 351, 174	18, 457, 171
商品	3, 497, 643	4, 084, 092
未成工事支出金	1, 114, 891	1, 307, 171
原材料及び貯蔵品	8, 059	8, 059
その他	2, 360, 942	3, 193, 933
貸倒引当金	△90, 843	△68, 503
流動資産合計	50, 385, 354	46, 921, 097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2, 709, 061	2, 665, 924
機械装置及び運搬具(純額)	2, 336, 174	2, 322, 669
土地	3, 183, 449	3, 183, 449
その他(純額)	767, 279	950, 097
有形固定資産合計	8, 995, 965	9, 122, 140
無形固定資産		
のれん	84, 369	72, 316
その他	67, 793	68, 199
無形固定資産合計	152, 162	140, 515
投資その他の資産		
投資有価証券	3, 630, 180	3, 709, 950
その他	1, 596, 334	1, 469, 056
貸倒引当金	△129, 634	△126, 962
投資その他の資産合計	5, 096, 880	5, 052, 045
固定資産合計	14, 245, 007	14, 314, 701
資産合計	64, 630, 362	61, 235, 798

(単位:千円)

		(早位:十円)
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17, 128, 433	14, 394, 791
短期借入金	1, 000, 000	1, 000, 000
未払法人税等	1, 259, 484	339, 376
契約負債	3, 327, 167	4, 433, 012
賞与引当金	1, 079, 300	472, 524
役員賞与引当金	138, 600	35, 356
1年内償還予定の社債	6,000	6,000
その他	1, 252, 321	1, 251, 562
流動負債合計	25, 191, 306	21, 932, 622
固定負債		
社債	60, 000	60, 000
役員退職慰労引当金	25, 839	27, 191
退職給付に係る負債	997, 431	983, 459
その他	1, 625, 036	1, 678, 305
固定負債合計	2, 708, 307	2, 748, 957
負債合計	27, 899, 614	24, 681, 579
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 883, 650	1, 883, 650
資本剰余金	2, 075, 687	2, 075, 627
利益剰余金	30, 409, 424	30, 209, 549
自己株式	△970, 478	△970, 581
株主資本合計	33, 398, 283	33, 198, 245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	999, 194	1, 019, 955
退職給付に係る調整累計額	33, 217	33, 132
その他の包括利益累計額合計	1, 032, 411	1, 053, 087
非支配株主持分	2, 300, 052	2, 302, 885
純資産合計	36, 730, 747	36, 554, 218
負債純資産合計	64, 630, 362	61, 235, 798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	主 2023年 6 月 30 日) 18, 127, 042	19, 380, 754
売上原価	15, 154, 097	16, 269, 555
売上総利益	2, 972, 944	3, 111, 198
販売費及び一般管理費	2, 394, 767	2, 534, 849
営業利益	578, 177	576, 348
営業外収益		
受取利息	50	678
受取配当金	51, 332	56, 317
仕入割引	66, 856	70, 855
受取賃貸料	12, 633	15, 454
持分法による投資利益	6, 626	14, 859
貸倒引当金戻入額	19, 356	25, 012
その他	47, 802	50, 185
営業外収益合計	204, 658	233, 363
営業外費用		
支払利息	3, 316	7, 452
賃貸費用	3, 852	4, 131
その他	5, 933	7, 364
営業外費用合計	13, 102	18, 949
経常利益	769, 733	790, 762
特別利益		
投資有価証券売却益	68, 561	<u> </u>
特別利益合計	68, 561	_
税金等調整前四半期純利益	838, 295	790, 762
法人税等	317, 652	309, 992
四半期純利益	520, 642	480, 770
非支配株主に帰属する四半期純利益	51, 932	45, 578
親会社株主に帰属する四半期純利益	468, 710	435, 191

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)_
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	520, 642	480, 770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168, 177	37, 127
退職給付に係る調整額	198	△85
持分法適用会社に対する持分相当額	△318	3, 287
その他の包括利益合計	168, 057	40, 329
四半期包括利益	688, 700	521, 100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589, 014	455, 867
非支配株主に係る四半期包括利益	99, 685	65, 232

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月28日 定時株主総会	普通株式	423, 381	50	2023年3月31日	2023年6月29日	利益剰余金

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月27日 定時株主総会	普通株式	635, 066	75	2024年3月31日	2024年6月28日	利益剰余金

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

						(単位: 下門)
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計	その他	合計
売上高						
北関東エリア	6, 969, 181	4, 430, 774	1, 861, 438	13, 261, 394	350, 709	13, 612, 104
首都圏エリア	2, 683, 745	1, 101, 911	_	3, 785, 656	_	3, 785, 656
東北エリア	187, 637	322, 052	_	509, 690	_	509, 690
その他	_	152, 725	_	152, 725	66, 865	219, 590
顧客との契約か ら生じる収益	9, 840, 564	6, 007, 463	1, 861, 438	17, 709, 467	417, 574	18, 127, 042
外部顧客への売 上高	9, 840, 564	6, 007, 463	1, 861, 438	17, 709, 467	417, 574	18, 127, 042
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5, 310	2, 807	464	8, 582	513	9, 095
計	9, 845, 874	6, 010, 270	1, 861, 903	17, 718, 049	418, 088	18, 136, 137
セグメント利益	280, 765	178, 188	187, 814	646, 769	119, 914	766, 683

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー発電事業、 路面切削事業等を含んでおります。
 - 2 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。
 - 3 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。
 - 4 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。
 - 5 その他は、上記エリア以外における売上高であります。
 - 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	646, 769
「その他」の区分の利益	119, 914
持分法による投資利益	6, 626
配賦不能全社損益(注)	2, 335
その他の調整額	△5, 911
四半期連結損益計算書の経常利益	769, 733

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

						(単位・1円/
	報告セグメント					
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計	その他	合計
売上高						
北関東エリア	7, 156, 024	3, 863, 275	1, 672, 331	12, 691, 631	372, 375	13, 064, 006
首都圏エリア	3, 304, 589	1, 569, 332	_	4, 873, 921	_	4, 873, 921
東北エリア	220, 878	461, 496	_	682, 374	_	682, 374
その他	_	697, 720	_	697, 720	62, 729	760, 450
顧客との契約か ら生じる収益	10, 681, 491	6, 591, 825	1, 672, 331	18, 945, 648	435, 105	19, 380, 754
外部顧客への売 上高	10, 681, 491	6, 591, 825	1, 672, 331	18, 945, 648	435, 105	19, 380, 754
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	26, 290	1, 252	1, 417	28, 960	944	29, 904
計	10, 707, 782	6, 593, 078	1, 673, 748	18, 974, 609	436, 049	19, 410, 658
セグメント利益	373, 673	135, 379	164, 620	673, 673	108, 840	782, 514

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー発電事業、 路面切削事業等を含んでおります。
 - 2 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。
 - 3 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。
 - 4 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。
 - 5 その他は、上記エリア以外における売上高であります。
 - 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	673, 673
「その他」の区分の利益	108, 840
持分法による投資利益	14, 859
配賦不能全社損益(注)	△7, 680
その他の調整額	1,070
四半期連結損益計算書の経常利益	790, 762

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	172,653千円	174,087千円
のれんの償却額	12, 052	12, 052

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

当社は、2024年5月31日に、当社連結子会社であるタロトデンキ株式会社について、株式を追加取得いたしました。

- 1. 取引の概要
- (1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容 結合当事企業の名称 タロトデンキ株式会社(当社の連結子会社) 事業の内容 インターネットを利用した電気工事材料等の通信販売及び情報提供サービス
- (2) 企業結合日 2024年5月31日
- (3) 企業結合の法的形式 非支配株主からの株式取得
- (4) 結合後企業の名称 変更はありません。
- (5) その他の取引の概要に関する事項

追加取得した株式の議決権比率は30%であり、議決権比率の合計は100%となりました。2021年9月に当社 所有のタロトデンキ株式会社の株式を株式会社SUPINFへ30%譲渡いたしましたが、当社グループの将来的に柔 軟な資本政策を実現することを目的として当該取引を行ったものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得の対価 現金 60千円 取得原価 60千円

- 4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項
- (1) 資本剰余金の主な変動要因 子会社株式の追加取得
- (2) 非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額 60千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。